

平成15年度 わかる授業創造プラン

道徳学習指導案

日時 平成15年9月3日(水) 5校時  
学級 2年E組 男14名 女19名 計33名  
指導者 教諭 三戸 真丈

1. 教材名 『本当の優しさとは』
2. 主題名と内容項目

「本当の優しさについて考えよう」

2. 主として他の人との関わりに関すること。

(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し感謝と思いやりの心を持つ。

3. 主として自然や崇高なものとの関わりに関すること。

(2) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること  
に喜びを見いだすように努める。

3. 教材について

この教材は、コールバーグ博士の道徳性認知発達段階理論に基づく「モラルジレンマ授業」を実践するために、荒木紀幸博士が教材として取り上げられているものの一つで、丸山屋敏作成によるものである。

「癌の告知は是か非か」という問題は、患者の立場、家族の立場、医者の方立場、また、患者の精神的な状態によっても意見が分かれる。患者本人にとっては、「生き方、生き甲斐」に関わるものであり、患者を取り巻く人々にとっては、「思いやりの心」について深く考えさせられる問題である。人間の生死に関わる経験の少ない生徒達に、「癌の告知は是か非か」という問題を、ジレンマ資料について考えさせることは、「命の尊厳」「思いやりの心」「家族愛」を考えさせる上で、思考を深化させるよい教材となる。

4. 生徒の実態

男子は若干幼さが残るが、明るく元気な生徒が多い。女子は比較のおとなしく、授業などでは積極的に発言することは少ないが、思慮深い生徒が多い。男女の仲は良く、和気あいあいと話せる雰囲気がある。

生徒にとって人間の生死に直面する経験はまだ少ないと思われるが、大人による犯罪だけではなく、小・中学生による殺人事件や犯罪が多発するという最近の状況の中、命の尊さや思いやりの心、さらには、生き方についてあらためて考えさせていきたい。

5. ねらい

- ・「生命の尊重・思いやりの心・家族愛」について道徳的思考を深める。
- ・主人公の葛藤状態を把握し、主人公の取るべき態度について意志決定をする。
- ・判断の違いに基づいて、温かい雰囲気話し合いができる。

(ここでは、生徒一人一人が主体的に意志決定することを求めているのであり、到達すべき価値内容を求めない。)

6. 授業計画

- (1) 資料に関する第1次読みとりおよび意志決定 (0,5時間)
- (2) 癌に関する学習 (0,5時間)
- (3) 資料に関する第2次読みとり・ディスカッション・および意志決定 (1時間)【本時】

7. (1) 展開案 (第1次)

学 習 活 動	意 識 の 流 れ	指 導 上 の 留 意 点
1. 学習のめあてを知る。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○正解を求めるものではない。</li> <li>○討論で論破するものではない。 など</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的なオリエンテーションをしておく。</li> <li>○モラルジレンマ授業について簡単に説明する。</li> </ul>
2. 資料『本当の優しさとは』を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてをふまえて読む。</li> <li>○教師が音読を行う。</li> </ul>	
4. 状況を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○状況を把握する。(板書)</li> <li>(ア) 登場人物を確認               <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤さん ・佐藤さんの奥さん ・医者</li> </ul> </li> <li>(イ) 佐藤さんの職業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・売れっ子の小説家</li> <li>・「忙しい。時間がない。」と言う。</li> </ul> </li> <li>(ウ) 医者が佐藤さんに言ったと思われる言葉               <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き過ぎで疲れがたまっている。</li> </ul> </li> <li>(エ) 医者が奥さんに言った言葉               <ul style="list-style-type: none"> <li>・末期ガンである。</li> <li>・長くて1年、短かければ3ヶ月の命である。</li> </ul> </li> <li>(オ) 奥さんが迷っていること               <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐藤さんがガンであることを知らせるべきか、知らせるべきではないか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○奥さんの葛藤状況を理解するため、質問と状況を整理して板書する。</li> <li>○多忙で、仕事に情熱を持って取り組んでいることを押さえる。</li> <li>○医者が佐藤さん本人には言わず、奥さんにだけ病名を告げたことを明確にする。</li> <li>○末期ガン患者の症状や、精神的な状態について考える時間を作る。</li> <li>○ガン告知についての新聞記事等、お母さんの立場に立って考えるための資料を提示する。</li> </ul>
5. 第1次の判断・理由づけをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○佐藤さんの奥さんはどうすべきですか。</li> <li>(A) 事実を知らせるべき</li> <li>(B) 事実を知らせるべきではない</li> <li>(C) 迷っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夫婦間の深い愛情に基づいた葛藤へと結びつけるために、自分の家族や愛する人が患者の場合を想像させる。</li> </ul>
○ワークシートへの記入	○ワークシートにくわしい理由を書く。	○十分時間を取る

(2) 展開案 (第2次)・・・本時

学 習 活 動	意 識 の 流 れ	指 導 上 の 留 意 点
1.資料の再読と状況の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料『本当の優しさとは』を読んで (代表読み) 前時の内容を想起する。</li> <li>○佐藤さんの奥さんはどんなことで迷っているか。 (A) 事実を知らせるべきか (B) 事実を知らせるべきではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1次で奥さんの葛藤状況の理解、論点の把握は行っている。 ここでは再読し確認する。</li> </ul>
2.自分の第1次の判断・理由づけを見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○佐藤さんの奥さんはどうすべきですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の第1次の判断・理由づけを再確認し、討論に備える。</li> </ul>
3.第1次の全体の判断・理由づけを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○板書 (A) 事実を知らせるべき ( ) 名 (B) 事実を知らせるべきではない ( ) 名 (C) 迷っている ( ) 名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1次の判断・理由づけの人数分布や判断・理由づけを知らせる。</li> </ul>
4.他者の理由づけに対する賛成意見・反対意見・質問を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の考え方と自分の考え方の相違点を確認し、把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達理由づけを見ながら、自分のものとの類似点・相違点を確認するように指示する。</li> </ul>
○ワークシートに記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相違点に対する「賛成・反対・質問」などの意見を考え、ワークシートへ書き込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書き込む時間を確保する。</li> </ul>
5.他者の理由づけに対する意見や質問を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各自挙手して自由なディスカッションをする。  (予想される論点) ◆佐藤さんはガンだと聞いたらどんな気持ちになるか。 ◆佐藤さんののこりの人生を有意義なものにするには奥さんはどうすべきか。  ◆自分がもしガンなら告知してほしいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各自の書き込みをもとに自由に発表できるよう最初は指名する。</li> <li>○書き込まれた内容だけでなく、発表された意見・質問に対する考えも発表するよう促す。</li> <li>○ディスカッションを活発にするため論点を予想しておく。</li> <li>○予想される論点の提示はしない。</li> </ul>
6.焦点化された論点について討論する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師から出された焦点化した質問について討論する。 【中心発問】 「告知することと、告知しないことは、この場合、どちらが本当の優しさといえるだろうか？」  【補助発問】 「人によっては (状況によっても) 告知を求める人と、そうでない人がいることに気づくべきではないか。あなたの場合はどうか？」 (提示される論点) ◆ガンだと告げられたときの佐藤さんのショックはどうだろう。 ◆もしあなたが佐藤さんならガンだと事実を告げてほしいですか。 ◆お父さんに隠し続けている奥さんの心の苦しさはどうだろう。 ◆医者はどうすべきだと思いますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表の様子を見ながら、教師が徐々に論点を整理して提示し、討論を進めていく。</li> <li>○ジレンマ授業の最も大切な時間といえるので、十分な時間を取る。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※話し合いの流れによっては、【資料1】の統計を提示する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師が用意した論点にこだわらず、生徒の討論の流れを大切にする。</li> </ul>

学 習 活 動	意 識 の 流 れ	指 導 上 の 留 意 点
	<p>◆もし、ガンだと告げるとしたら、医者が言うべきか家族が言うべきか。</p> <p>◆お父さんが残りの人生を充実して送るためには、ガンだと告げるべきか、告げるべきではないか。</p>	
<p>7.佐藤さんの奥さんはどうすべきかについて再度判断し、理由づけを行う。</p> <p>○ワークシートに記入する。</p>	<p>○佐藤さんの奥さんは、どうすべきですか。</p> <p>(A) 事実を知らせるべき (B) 事実を知らせるべきではない (C) 迷っている</p> <p>○ワークシートに奥さんの立場で自分の意見を記入する。</p>	<p>○ワークシートの記入に時間を取る。</p> <p>○第1次の判断にとらわれないうで、自由に判断・理由づけを書くように指示する。</p>
<p>8.ガン告知に関する資料を提示する。</p>	<p>【資料1】</p> <p>○ガン告知に関する統計資料を提示する。(紙板書)</p> <p>【資料2】</p> <p>○医者の実際の意見を提示する。</p>	
<p>9.今日の感想を記入する。</p>	<p>○ワークシートに今日の授業の感想を記入する。</p>	

#### 8. 評価

- ・他の生徒の意見や質問を聞いて、かかる価値について、より考えを深め、発表することができる。
- ・討論を通してより深い根拠に基づいた意志決定をすることができ、その理由を書くことができる。
- ・他の生徒の意見などをしっかりと聞き、真摯な態度で討論をすることができる。